

日本食肉流通センター及び川崎東郵便局  
見学会の報告

【日付】平成 28 年 3 月 8 日（火）9:00～17:00

【見学場所】日本食肉流通センター 川崎市川崎区東扇島 24 番地  
川崎東郵便局 川崎市川崎区東扇島 88 番地

【目的】食肉の流通の仕組みなどを知る。

川崎東郵便局の業務や国際郵便の通関交換業務等を学ぶ。

【参加人数】食肉流通センター 28 名（男性 21 人、女性 7 人）

川崎東郵便局 27 名（男性 21 人、女性 6 人）

【見学コース】川崎駅東口バス停 12 番 9:08→日本食肉流通センター前→10:40 日本食肉流通センター見学 11:30→ミートアイランド昼食→マリエン展望台→ダイワコーポレーションバス停→山九物流センター前→13:10 川崎東郵便局見学 16:15→17:00 川崎駅

【参加費用】500 円（保険代等含む）

【内容等】今回の応募は 1 週間ほどで募集定員 20 人を満たしましたが、その後、追加の応募が多数あり受け入れ側のご了解を得て定員ギリギリの 28 名もの参加者となりました。皆さんの感心の深さに驚かされました。

多数の応募に感謝するとともに受け入れ側の日本食肉センター様及び川崎東郵便局様の関係者の方々にはお礼を申し上げます。ありがとうございました。

見学会に先立ち、富山県にある北日本放送の記者のご挨拶がありました。昨年の 3 月に北陸新幹線が開通して金沢はとて賑やかになりましたが、富山はその恩恵にあずかっていないという。富山は自然豊かな場所であるが、それ以外でもお客さんと呼び込むような魅力ある観光を目指さなければならないとの説明がありました。富山と川崎は浅野総一郎との関係があり川崎市民が産業観光を楽しんでいるという事で、富山の参考にするために取材をさせていただきたいとのご挨拶がありました。

日本食肉流通センターは昨年の 11 月に続き 2 度目の見学会でした。2 度参加された方々もいらっしゃいました。

前回は食肉の流通について概要を知るといふことである程度の事は理解できましたが、二度目の見学会ではより知識が深められたかなと思いました。1 度だけではなくて何回か見学するといろいろと見えてくることがあると感じました。

食肉流通センターの大きな役割は二つあるとの説明でした。一つはここ川崎と大阪にある流通センター内の 60 社の取引情報の収集と公表をしているとの事。お肉の部位別の価格情報の発信、指標の役割ですね。二つ目は部分肉流通施設の貸付整備を行っておりプリマハムなどがこの施設を利用しているとの説明がありま

した。また、部分肉の流通改善に向けた調査研究や知識の普及に努めていて、今年は10月8日、9日にちくさんフェアを開催されるとのお話でした。

質疑応答後、現場を見学しました。

冷蔵庫に納められた枝肉、天井レールにつるされた枝肉はエレベーターで移動して部分肉に解体される部屋に導かれます。そこで各部位（13部位）に仕分けられます。

ロインとヒレ肉の境目はどのように判断してお肉をさばっていくのかなどの質問もありました。職人の腕で法的にしっかりと仕分けの方法があるのでそれに基づいて部位を仕分けていくので間違わないとの説明でした。

各地に配送されるお肉の梱包の部屋や-25度Cの部屋も体験させていただきました。

とても分かりやすい説明で参加者はうなずいている方もいらっしゃいました。またアンケートでも「とても良かった」との声が多くありました。皆さんとても満足されていたようです。

見学会後、ミートアイランドで各自好きな料理を注文されました。とてもボリュームが多く、美味しくいただいたようでした。

食後、隣にあるマリエンの展望台に移動して次の川崎東郵便局の見学会まで展望を楽しみました。展望は霧が覆っていて晴れた景色は望まれませんでしたが、とても幻想的な景色を見ることができました。霧の間から船の影やらクレーンの先が霧に浮かんでいる風景はちょっと見られない風景でした。その意味でもラッキーかなと思いました。晴れた景色を観たい方は機会を作って是非このマリエンでの展望をご覧いただければと思います。

国際郵便の玄関口の位置づけである川崎東郵便局の6階の会議室で東郵便局扱いの業務や郵便の商品などのご説明と横浜税関の担当者の方から税関の役割についてのお話をお聞きしました。

民営化になった郵便局の仕組みをお聞きしました。日本郵政、かんぽ生命、ゆうちょ銀行の三つの会社になり、郵便局がゆうちょ銀行とかんぽ生命の業務委託を受けて行っているとの説明でした。郵便局はとても身近で普段着のまま下駄ばきでいけるところなので、もっともっと利用していただきたいとのお話でした。

店舗数はなんと全国で24,000店舗もあるという。セブンイレブンは18,000店舗、三菱UFJ銀行は770店舗、みずほは450店舗でその店舗数の多さに驚きました。

いくつかの日本郵政の商品などを説明いただきました。ゆうパック、レターパック、タウンメール、オリジナル切手の商品紹介もとても面白かったですね。みまもりサービスも試作中だそうです。こんな商品があったのかと驚きました。全国に24,000店舗もある便利さを活用できるものは活用してきたいと思いました。

特にゆうちょ銀行での ATM は手数料なしとの話は知らなかった方にはお得になる情報だと思いました。

現場見学会では 6 階から 1 階まで郵便物がそれぞれの箇所で検査を受けたり仕分けされたりする流れ作業を見学しました。まさに郵便の工場ですね。

荷物のレントゲン検査の他に検査業務の中の麻薬探知犬のデモが見られたのはとても良かったです。レトリバー、ラブラトロールなどの犬が訓練されているそうです。活躍は 2 歳から 7 歳ぐらいまでだそうです。遊びの中から訓練をしていく話はとても興味がありました。犬とハンドラーが一緒になって犬と真剣に遊ぶ。訓練するのではなくて真剣に遊ぶことが大事とのお話はとても印象的でした。これは親子や親と孫の関係も同じだと思いました。また税関の業務も身近に知ることができてとても良い機会でした。

そのほか見学会では東芝の仕分け機械、フランスの機械、配達トラックの荷積み工夫、真夜中の仕事、郵便番号とバーコードによる効率化。これは配達順に郵便物が並べられていくとの説明には驚きでした。

トラックの運転手さんをはじめ働いている人たちが 1,500 人もいるビッグな郵便局（全国で 4 番目の大きさだという）の見学会に学ぶことがとても大きかったです。そしてワンダー驚きが沢山あった見学会でした。

また現地で働いている作業の方々の挨拶がとても良くて、見学者の方々が感心していました。アンケートでとても気持ちが良かったと書かれていました。

一度だけではとても理解できなかったのも、また機会があれば見学出来るといいなと思いました。

見学会を受け入れていただきました関係者の皆様にはお忙し中、本当にありがとうございました。

#### 【写真】



総勢 28 名の参加者。  
受付をすませて川崎駅東口バス乗り場 12 番から乗車。  
各自一日乗車券で乗車。



日本食肉流通センター前にて。  
北日本放送の撮影取材している模様。



ビデオで食肉流通センターの役割などを学ぶ。その後、質疑応答。活発な質問がありました。



構内の見学の前準備中。マスク、帽子、白いウェアを着こみました。



枝肉に冷蔵庫を見学。天井クレーにつるされた枝肉はエレベーターで各階に運ばれて部分肉として仕分けされます。



右側の部屋で枝肉が部分肉に仕分けされています。その作業を見学している皆さん。



真空包装された部分肉を定型の段ボール箱に入れて流通される。



牛の手や足の骨。砕いて肥料や家畜のえさになるようです。



ミートアイランドで食事後、マリエンの展望台から日本食肉流通センターを望む。羽田方面は霧が立ち込めていて見えませんでした。



だいぶ霧が晴れてきた状態ですが、奥の煙突やクレーの先が霧に浮かんで幻想的に見えました。



川崎の産業観光を支援する会の大矢会長が北日本放送の記者からインタビューを受けています。



川崎東郵便局の見学会に向かう  
皆さん。



川崎東郵便局 6階の会議室にて。説明をお聞きする前。この場所で郵便局の商品の紹介や業務の内容、横浜関税の業務の内容などをお聞きしました。  
郵便局の構内の撮影は禁止でした。





見学会終了後の入口での皆さんとの集合写真。みなさんとても満足の様子でした。  
ありがとうございました。

川崎の産業観光を支援する会の事務局  
根岸雅明 記